

岩手・宮城内陸地震の義援金を募集しています

宮城県共同募金会では、今年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震の災害義援金を募集しています。

集まった義援金は宮城県栗原市および大崎市へ配分します。

皆さまの温かいご支援・ご協力をお願いします。

■受付口座など

金融機関	支店名	口座番号	名義
ゆうちょ銀行		02260-1-16390	社会福祉法人 宮城県共同募金会 「岩手・宮城内陸地震」
七十七銀行	県庁支店	(普通) 9099964	社会福祉法人 宮城県共同募金会 会長 飯岡 絹子 「岩手・宮城内陸地震」

■現金書留による義援金の送金は下記あてとなります。

〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺一丁目4番28号

社会福祉法人 宮城県共同募金会

※郵便局窓口での送金を希望される場合、郵便料金は免除となります。

封筒あて名のところに「救助用」とお書きください。

※送金手数料や郵便料金は免除扱いとなります。通信欄に「岩手・宮城内陸地震」と明記してください。

●受付終了日 平成21年6月16日(火)

●問い合わせ先

白石市共同募金委員会事務局（白石市社会福祉協議会内）☎22-5210

紙上からお礼申し上げます

生活基盤の整備や福祉事業などのため、次の方々からご寄付をいただきました。紙上からお礼申し上げます。

(株)ティーセレクション代表取締役 日下和博氏、長袋牧野農業協同組合代表理事組合長 斎藤宏氏、白石旧車会代表 末谷喜雄氏、NECトーキン(株) 白石事業所長 中川博氏、東北電力(株)白石営業所所長 土屋雄一氏、(株)ユアテック白石営業所所長 有住和郎氏、野口利雄氏、白石ライオンズクラブ会長 上西博志氏



▲NECトーキン(株)中川白石事業所長様より車いす2台を寄付いただきました。

外国人を雇用する場合のルールが新しくなりました

平成19年10月1日から、外国人労働者を雇用する場合、その氏名や在留資格などのハローワークへの届け出が義務付けられました。

届け出を怠ったりしたような場合、罰金が科せられますので、ご注意ください（離職した場合も同様）。

●届け出事項・方法など

雇用保険被保険者資格取得届またはハローワークでお配りしている届け出様式に、氏名、在留資格、在留期限、生年月日、性別、国籍などを記載して届け出てください。

なお、平成19年10月1日時点で、既に雇用している外国人労働者については、本年10月1日までに届け出てください。

ハローワークインターネットサービスから届け出ることも可能です。

●ホームページURL <http://gaikokujin.hellowork.go.jp/gkjgs/index.jsp>

※ご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

☎ハローワーク白石 ☎25-3107

「みやぎの現場」訪問事業で知事が市内を視察

宮城県では、「衆知を集める県政」の実現を図るため、知事が県民の皆さまから意見を伺い、県政に反映させることを目的として、先進的な取り組みを行っている企業やNPO、各種団体などを視察して意見交換を行う「みやぎの現場」訪問事業を、平成18年度から実施しています。

3年目となる本年度は、年内中に7つの地域を訪問し、さまざまな企業や施設などを視察する予定となっています。

7月8日、本年度の1回目となる「みやぎの現場」訪問事業が行われ、村井嘉浩宮城県知事がソニー白石セミコンダクタ株式会社と社会福祉法人白石陽光園 知的障害者通所厚生施設「とも」、小原地区活性化協議会の直売所などの施設訪問を行いました。

ソニー白石セミコンダクタ株式会社では、半導体レーザーの最先端技術の説明を受けた後、工場見学を行いました。村井知事は、「実際に見て、すごい技術であると思いました。これからは頑張ってください」と激励しました。

また、知的障害者通所厚生施設「とも」では、作業内容の説明や、実際の作業場の視察を行い、作業中の皆さんから大歓迎を受けた村井知事は、記念写真に気軽に応じていました。



▲半導体レーザーの最先端技術の説明を受ける村井知事

白石市地球温暖化防止実行計画の進ちょく状況

☎生活環境課 ☎22-1314

平成17年2月に京都議定書(※1)が発効し、国、地方公共団体、事業者、国民一人ひとりが協力して地球温暖化防止のために行動することが求められています。

本市でも、住民サービスを行う上で電気や燃料などを消費するため、平成15年3月に「白石市地球温暖化防止実行計画」を策定し、省エネルギー活動を積極的に推進し環境への

●年度別温室効果ガス総排出量とその値の基準年度との比較

	平成13年度 (基準年度)	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
温室効果ガス 総排出量 (t-CO2)	2,614 (100%)	2,552 (97.6%)	2,536 (97.0%)	2,609 (99.8%)	2,527 (96.7%)	2,532 (96.9%)

平成19年度の温室効果ガスは、台風被害の状況調査のため、公用車使用回数が増加したことや、暖房設備の使用燃料を灯油から電気に変更した施設があったことで、電力使用量が増加したことなどにより前年度より0.2%増加となりました。しかし、基準年度との比較では82t-CO2(※2)・3.1%の削減となり、当初の目標である1%以上の削減を達成する

ことができました。今後もさらなる削減を目指して、資源のより効率的な使用の徹底を図っていきます。

また、本市では6月1日から9月30日まで「クールビズ」として、ネクタイをはずすなどの軽装で勤務し、冷房温度を適正に管理し、夏の地球温暖化防止に取り組みますので、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

●進ちょく状況結果

本市では、この計画に従って省エネルギー活動などの取り組みを行

い、年に1回、市役所内のすべての課、公民館、幼稚園、保育園、学校およびポンプ場など91の施設から電気や燃料の使用量の報告を受け集計しています。そして、その数値から温室効果ガスの二酸化炭素などの排出量を計算しています。

取り組み5年目の平成19年度の温室効果ガス総排出量を算出しましたので報告します。

(※1) 京都議定書：地球温暖化防止のため、二酸化炭素など6つの温室効果ガスの排出削減義務などを定めた議定書。平成19年12月に京都で開催された「気候変動枠組条約第3回締結国会議」で採択。

(※2) t-CO2：二酸化炭素などやその他の温室効果ガスの排出量を、二酸化炭素の(二酸化炭素トン)重量に換算した単位。

市民バスきゃっするくん「こじゅうろうくんバス」が登場!

☎企画情報課 ☎22-1324

7月4日、市民バスきゃっするくんのラッピングバス第2弾「こじゅうろうくんバス」が公開され、そのお披露目式が行われました。バスには、本市の仙台・宮城DC(デスティネーションキャンペーン)キャラクター「こじゅうろうくん」と、仙台・宮城DCキャラクター「むすび丸」のラッピングが施されています。

お披露目式で風間市長は「全国に『伊達の先陣』としての片倉小十郎、そして城下町白石をピーアールしていきたいです」とあいさつ。現在、越河地区をはじめ、市内各地域を運行しています。



▲新登場の「こじゅうろうくんバス」

第15回グリーンリーブス使節団が来白

7月8日、姉妹都市であるオーストラリア・ハーストビル市から10名の子どもたちと、引率者2名の合計12名の使節団が到着。7月13日までの日程で、ホームステイをしながら、うどん作りのほか日本舞踊の見学や茶道の体験などを行い、白石での生活を楽しみました。

7月31日からは、本市の中学生12名と引率者2名が、オーストラリア・ハーストビル市を訪問し、ホームステイをしながらさまざまな体験をする予定になっています。



◀小麦粉だらけになりながらうどん作りに挑戦!